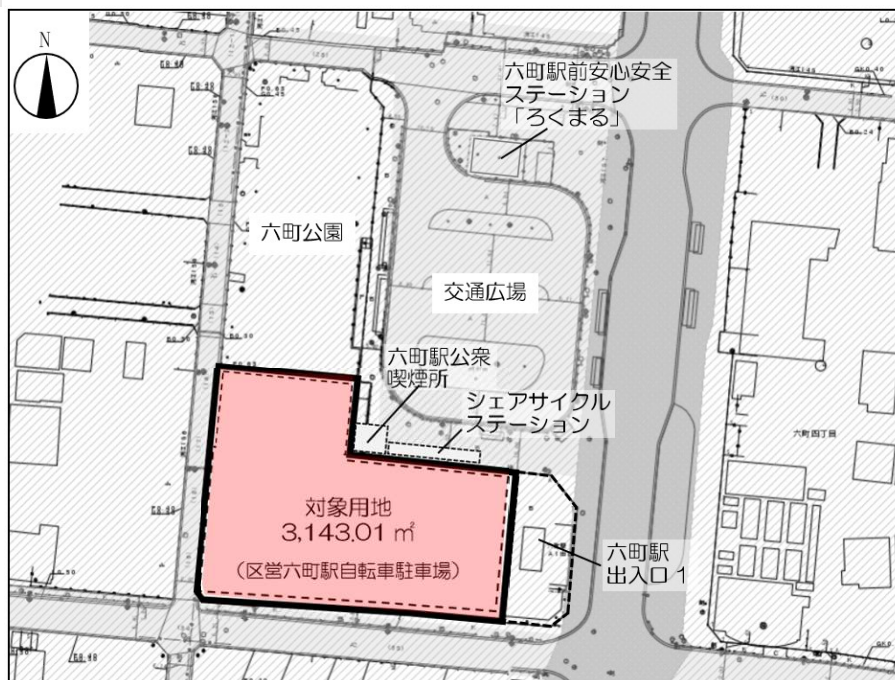


六町駅前区有地の現在の状況

現況案内図



これまでの経緯

- 令和 5年 3月 東神開発(株)を六町駅前区有地活用事業者に決定
- 令和 5年 7月 活用事業者と基本協定書の締結
- 令和 5年 8月 近隣住民説明会開催(新施設の計画)
- 令和 6年 5月 近隣住民説明会開催(整備計画延伸)
- 令和 7年 7月 活用事業者より事業撤退の申入書の送付
- 令和 7年 8月 近隣住民説明会開催(事業撤退)
- 令和 7年11月 活用事業者と基本協定合意解約覚書締結

➔ 工事費高騰の沈静化が見通せず、事業収支が見込めないため事業者撤退

令和 8年 1月 サウンディング型市場調査(事業者ヒアリング)の実施

主な対話内容

- ◆ 提案可能な用途・規模
- ◆ 工事費高騰下で計画を実現するために、前回公募条件(貸付期間、保証金の設定額、定期駐輪場確保台数等)の中で見直すべき条件設定
- ◆ 六町公園・六町駅前交通広場を含めた活用の可能性

サウンディング型市場調査の結果

民間事業者にヒアリングを行い、市場の意向を確認しました。
その主な結果をお知らせします。



実施期間 令和8年1月26日(月)～1月30日(金)

参加事業者 7者 (デベロッパー、ハウスメーカー、小売事業者等)

事業者ヒアリング結果

1 施設規模

建設費高騰により、前回計画（6階建て・延床1万㎡超）同等程度の実現は極めて困難。3～4階程度が現実的。



2 定期駐輪場

1階の多くを600台の駐輪場が占めると収益確保が難しい。敷地外への移設や台数見直しを希望。



3 隣接する公園や駅前交通広場との連携の可能性

公園の活用（Park-PFI制度等）や、駅前広場でのイベント展開には多くの事業者が前向き。



公募条件見直しの3つのポイント

1 施設規模の再検討

地域の方々の意向を確認し、今の市況に合った規模を検討しています。

2 条件の柔軟性

駐輪場の配置など、事業者が参入しやすい条件へ見直しています。

3 駅前の更なる魅力向上策

公園や広場を一体的に活用し、駅前の賑わいを創出する手法を研究しています。

公募条件見直しに向けて

パネルへ

公募条件見直しに向けて

皆さまのご意見をお聞かせください！

Q1 駅前区有地に求める施設について教えてください。

- 規模は一定程度見直しても、できるだけ早い整備を優先してほしい
- 時間がかかっても、大規模で充実した施設を目指してほしい



建設費高騰により前回同等規模の施設の実現は難しい中で、求める施設のイメージや、重要なポイント、その理由を詳しくお聞かせください。

Q2 六町駅周辺の駐輪場についてどのように考えますか。

- 現在の駅前区有地に整備すべき
- 駅周辺であれば別の場所でもよい



六町駅前区有地【駅側】(現在は区営駐輪場)



六町駅前区有地【公園側】(現在は区営駐輪場)

Q3 隣接地の連携の可能性についてどのように考えますか。

- 六町公園や駅前交通広場は、隣接地と連携した整備を進めてほしい
- 六町公園や駅前交通広場は、現在のまま残してほしい



次のパネルを参考に、六町公園と駅前交通広場のイメージや、良いところ、より良くなりそうなポイントを教えてください。

六町駅前の魅力向上を目指して

駅前区有地を六町公園や駅前交通広場と一体的に活用することで、より魅力的な駅前空間となるよう検討しています。



六町公園と駅前広場(現状)



駅前区有地との段差



駅前広場側(イベント時)



駅前広場側入口



公園内広場(駅前区有地側)



公園内広場(イベント時)



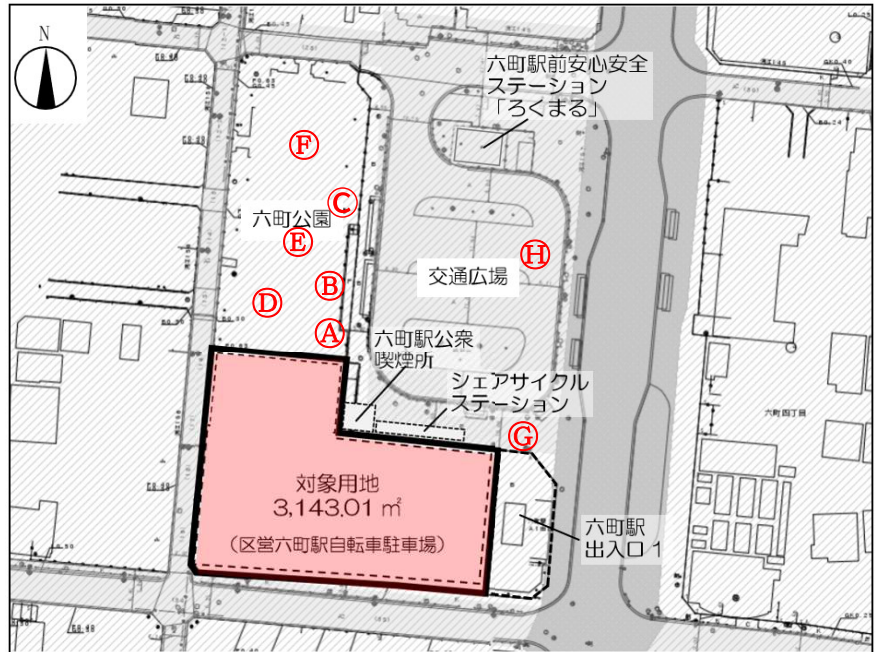
六町公園(北側)



六町駅前区有地と駅前交通広場



駅前交通広場のバスプール



先進事例

(1) 駅前広場から段差のないつながり



綾瀬駅東口駅前広場と東綾瀬公園

(2) 商業施設と隣接する広場空間



流山おおたかの森駅南口都市広場

(3) 公園内のカフェ等(Park-PFI)



新宿中央公園